

いながわ

2月

平成 25 年



息を合わせて力いっぱい餅をつく園児たち☆(六瀬幼稚園)

～ 平成 23 年度 決算認定について ～

～ 放射性物質の測定を実施中 ～

8

19

町老人クラブ連合会「若手委員会」

22

26

27

28



火の粉をまきあげるとんど焼き(北野地区)

猪名川町の未来のために！！

～平成 23 年度 決算認定について～



自然いっぱいの猪名川町、ぼくが大人になっても健全な財政であってほしいなァ！



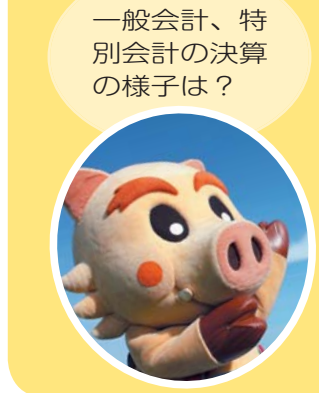
皆さんは、自分たちが住む「まち」の財政状況について考えたことはありますか？
小学生の「いなぼう」が冬休みの自由研究にどうかなあ…と、「猪名川町の財政」を役場の担当職員に教えてもらいにやってきました。いなぼうは、どんなお話が聞けたのでしょうか…？



企画財政課 井上 貴公 主事

表 2 平成 23 年度一般会計・特別会計決算一覧表

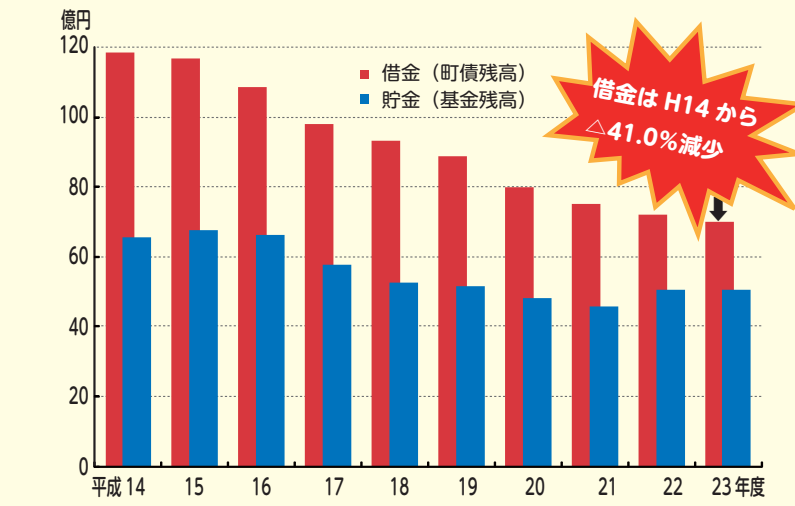
会 計 区 分	歳入	歳出	差引残額
一 般 会 計	96億1,508万円	92億1,615万円	3億9,893万円
特別会計			
国民健康保険	31億 147万円	28億5,077万円	2億5,070万円
介護保険	16億6,097万円	16億2,794万円	3,303万円
後期高齢	5億1,359万円	5億 572万円	787万円
農業共済	3,567万円	2,207万円	1,360万円
奨学金	341万円	321万円	20万円
小 計	53億1,511万円	50億 971万円	3億 540万円
合 計	149億3,019万円	142億2,586万円	7億 433万円



ちりと管理するのが僕たち職員の仕事でもあるんだ！
いなぼうⅡでも、借金は減っているし、安心していいんじゃないの？
井上Ⅱでも、住民一人当たりでは21万6千円の借金が残っているんだ。国の定める指標では、同じ規模の他の市町などと比べると「財政悪化」にはなっていないって言えるかな…。でも、安心は禁物だからね！
いなぼうⅡどうして、「財政悪化」とか「貯金が増える」とか、「借金が減る」とかがわかるの？
井上Ⅱいなぼうの家も、家の人がお金を管理しているだろ？
役場のお金も、ちゃんと管理されていて、毎年「決算」といって、入ったお金と使ったお金のチェックを受けて確認して、1年間の収入と支出をしめくるんだ。
そして、少しでも残金に余裕があれば貯金して、将来に備えるんだ。家のローンを返していくみたいに、借金も返さないといけないしね…。
ただし！貯金や借金より先に、毎日の生活をしていかないとけないよね。そのためには、「生活費」が必要になるだろ？
町の生活費にあたる部分が「一般会計と特別会計」と言われる会計に分けられていて、皆さんが必

要な公共サービスを受けるために使われるんだ。
いなぼうⅡそうだね、大切なお金は、しっかり管理しないといけないね…。
井上Ⅱじゃあ、平成23年度の決算について、少し説明しようか！
表2は、平成23年度の町の一般会計と特別会計の決算で、昨年12月に開会された第363回町議会定例会で内容について審議され、認定された数字だよ。
町の会計は、「一般会計」と、使用道が限定されている特別な経費だけを、それぞれ分けて管理している6つの「特別会計」で管理されているんだ。
そして、下のグラフ（図2）は、一般会計の歳入で、皆さんの税金などの収入を項目別にまとめた表で、町のおさいふだよ。

図 1 借金（町債）・貯金（基金）残高の推移



いなぼうⅡ広報いながわを見ていたら、「猪名川町の基金残高」って書いてあったんだ。
冬休みの自由研究を何にするか迷っていたから、調べてみようと思って役場の井上さんに聞いてみたら「町の貯金だよ」って。猪名川町には貯金があるんだなあ…って思ったんだ。
井上Ⅱいなぼう、猪名川町には「貯金（基金）」もあるけど、「借金（町債）」もあるんだよ。

表 1 借金（町債）・貯金（基金）残高一覧表

区 分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
貯金（基金）残高	51 億 4,428	48 億 2,800	45 億 7,995	50 億 5,186	50 億 4,285
借金（町債）残高	88 億 6,316	79 億 8,982	75 億 2,386	72 億 1,944	69 億 9,398

井上Ⅱいやあ、単純にはそうはいえないんだなあ…。
平成23年度の決算時の貯金は、残高が50億4,285万円、前年度と比べると901万円の0.2%減っているんだ。
景気の変化などに、将来必要となる施設の整備や修理費として計画的に貯金したり、どうして必要なお金をためたり貯金をするために、緊急災害などのため

このグラフ（図1・表1）を見てもらえ。貯金はここ数年間同じくらいの約50億円前後だけど、借金は年々減ってきているだろ？
いなぼうⅡ借金が減って貯金が変わらないなら、猪名川町は将来安心だね！

平成 23 年度 歳入額 = 96 億 1,508 万円
※前年度比 1 億 5,571 万円 (△ 1.6%) 減少

平成 22 年度と比較した
主な増加・減少

町税＝不景気の影響や退職した人が増えたことで、個人町民税が4,669万円(△0.4%)減少しましたが、法人町民税が3,917万円、たばこ税が1,346万円増加したことなどにより、町税全体としては845万2千円(0.2%)増加
地方交付税＝平成22年度国勢調査人口の増加などの影響で、8,303万円(3.9%)増加
国庫支出金＝国の経済対策の減少などの影響により2億1,549万円(△22.4%)減少

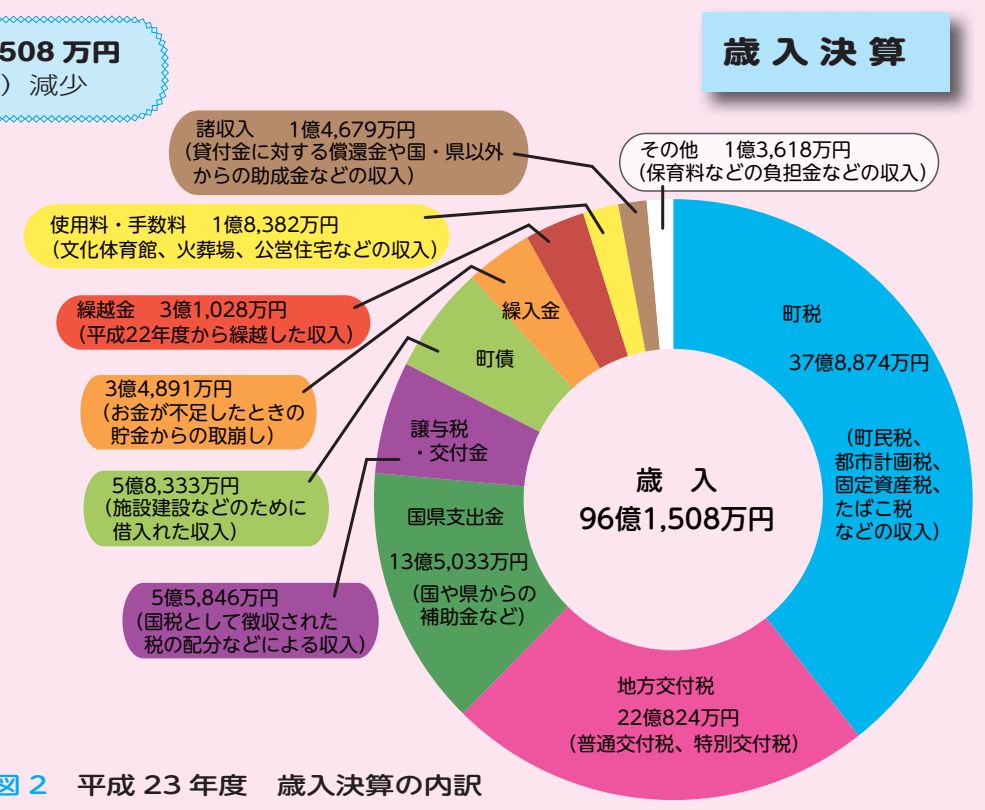


図 2 平成 23 年度 歳入決算の内訳

目的別歳出決算

平成 23 年度 歳出額 = 92 億 1,615 万円
※前年度比 2 億 4,436 円 (△ 2.6%) 減少

性質別歳出決算

平成 22 年度と比較した 主な増加・減少

民生費…子ども手当の支給や認定こども園整備補助などを実施したことから 1 億 9,068 万円 (7.8%) 増加
総務費…固定資産税の評価替業務や国勢調査の終了などから 5,058 万円 (△ 3.7%) 減少
教育費…町内小中学校 8 校への太陽光発電システム設置事業の完了などから 3,918 万円 (△ 2.6%) 減少
公債費…過去の繰上償還や町債の発行抑制などの効果から 1 億 8,772 万円 (△ 16.8%) 減少

図 4 平成 23 年度 目的別決算 (歳出) の内訳

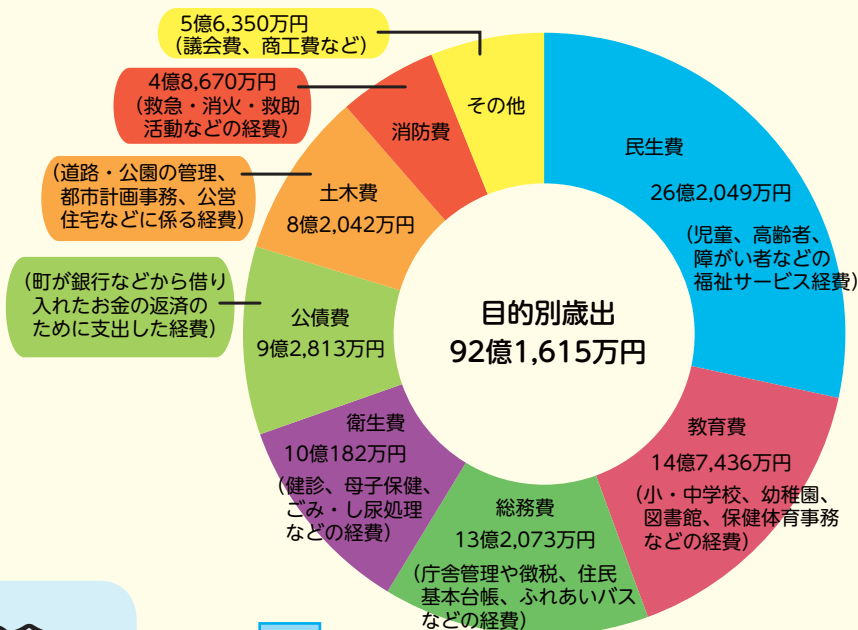
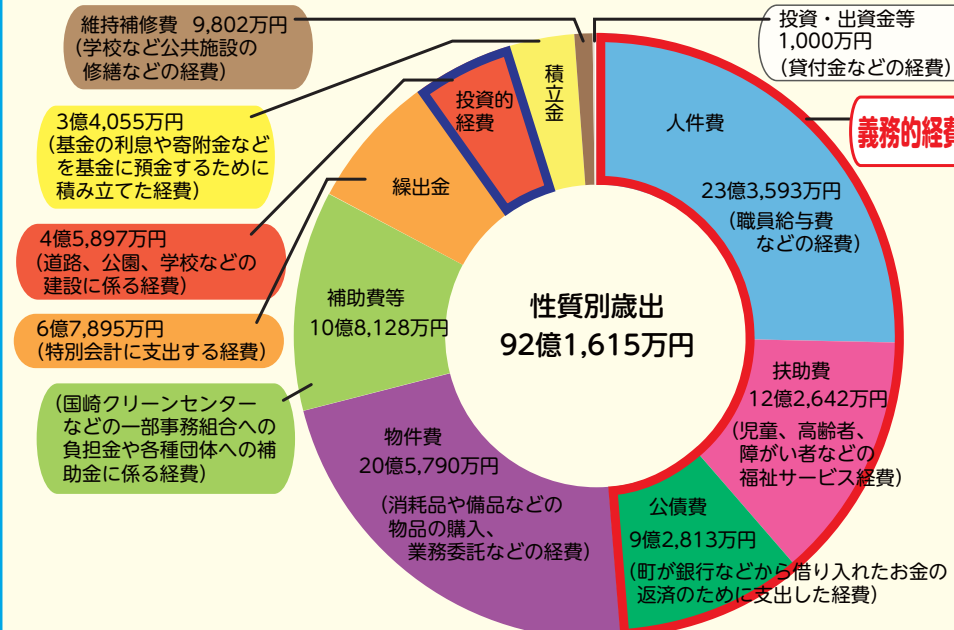


図 3 平成 23 年度 性質別決算 (歳出) の内訳



平成 22 年度と比較した 主な増加・減少

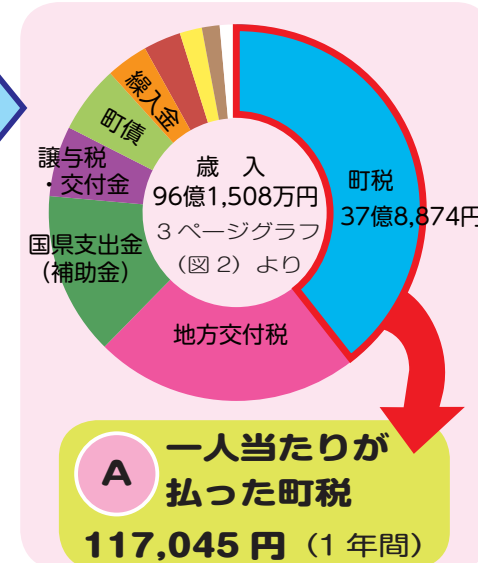
補助費…国崎クリーンセンターの建設償還金が本格化したことなどから 7,134 万円 (7.1%) 増加
物件費…住民基本台帳システム改修や図書館環境整備事業などから 1 億 986 万円 (5.6%) 増加
扶助費…子ども手当の支給などにより 5,686 万円 (4.9%) 増加
公債費…1 億 8,772 万円 (△ 16.8%) 減少
積立金…1 億 6,218 万円 (△ 32.3%) 減少
投資的経費…普通建設事業として小中学校校舎太陽光発電システム設置事業や火葬場改修事業などの完了から 1 億 2,373 万円 (△ 23.5%) 減少

B 一人当たりにかかったお金 284,713 円 (1 年間)



AとBの差額
167,668 円

この差額を、国や県からの補助金や借入金、基金の取り崩しなどで賄っているんだって!



A 一人当たりが
払った町税
117,045 円 (1 年間)

※人口 32,370 人
(平成 24 年 3 月 31 日現在) で算出

投資的経費の状況

投資的経費とは、公共施設や道路、公園などのインフラ整備の経費で、学校耐震化事業などを実施した平成 18 年度をピークに 70%以上減少しています。今後は、公共施設の老朽化で、修繕や大規模改修など多くの経費が見込まれます。

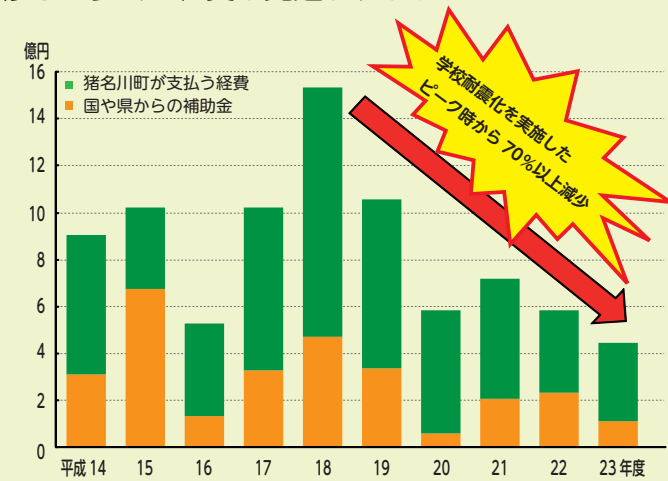


図 6 投資的経費の推移

義務的経費の状況

義務的経費とは、人件費、扶助費、公債費で、簡単に削減することが難しい経費です。**人件費**=退職手当などの負担金が増加したものの職員給与が減少したため 267 万円 (△ 0.1%) 減少 **扶助費**=子ども手当の支給などにより 5,686 万円 (4.9%) 増加 **公債費**=これまでの繰上償還や町債発行の抑制により 1 億 8,772 万円 (△ 16.8%) 減少

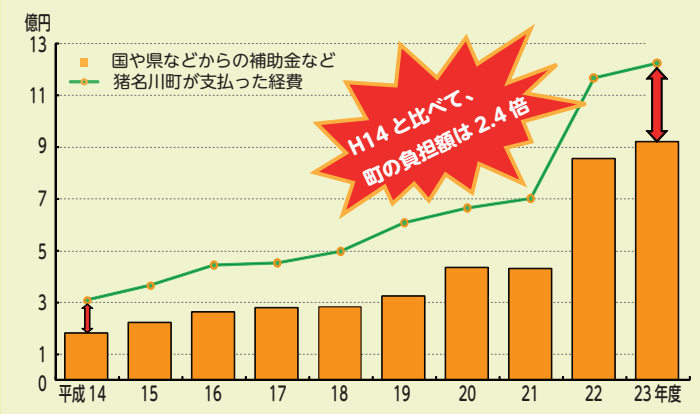


図 5 扶助費 (福祉関係経費) の推移

次は、皆さんにお使いいただいている公共施設などの整備に使っている建設事業費などの動きのわかるグラフ (図 6) だよ。

投資的経費は、学校耐震化工事の終了などにより、平成 18 年度をピークに減少しているんだ。

でも、町の多くの施設が古くなってきて、あちこちで建物に痛みが生じてきて、一つの修理でもたくさんのお金が必要なんだ。

だから、これから先は、施設を安全に使えるように修繕、建て替えなどにもたくさんのお金が必要になってくるんだ。

いなぼう…そうかあ。施設を安全に使えるようにしていくのにも、たくさんのお金がかかってしまうんだね。

井上…今度は、皆さんに納めていただいているお金が、どのように町のお金として使われているのか、説明するよ。

いなぼう…「町税」ってやつだよ。

井上…上の天秤は、平成 23 年度に皆さんから町に納めていただいた税金の一人当たりの額 (右) と、同じ年に皆さんに対して提供したサービスの一人当たりの額 (左) だよ。

いなぼう…ここから何がわかる？

いなぼう…使ったお金の方が多いんだね。

井上…おさいふにお金があれば、今度は必要なものを買うお金があるよね。

図 3 と図 4 の円グラフは、二つとも使ったお金 (経費) を示すものなんだけど、町などの地方自治体で支出する経費は、二つの視点から分類することができるんだ。

一つは、職員に支払った給料などの人件費や、物品購入などの物件費、福祉サービスなどの扶助費など、「使った経費はどんなものか」で分類した「性質別」の経費 (図 3)、もう一つは福祉や教育、道路整備など、「どんな目的のために使ったか」で分類した「目的別」の経費 (図 4) があるんだ。

特に、図 5 のグラフを見てもらえ。乳幼児等医療費助成や町福祉金などの扶助費 (福祉関係経費) の 10 年間の動きがわかるんだけど、この 10 年で福祉関係に使ったお金が、約 4 倍に増えているのがわかるかな？

そのうち、支出した金額から国・県からの収入を除いた町の負担額がグラフ中の「↑」なんだけど、10 年前と比べると、2.4 倍になっているんだ。少子高齢化対策をはじめ医療費助成など、将来的にも扶助費の削減は難しいんだ。





状況が
しい財
政続
税は伸
び
どから
町の影
響な
少子高
齢化

井上「少しずつだけど、計画を現して、まちづくりを進めているんだ。」
これからの、猪名川町は、福祉関係経費（扶助費）などの増加が予想される一方で、景気の低迷や少子高齢化の影響などから町税の伸び悩み、厳しい財政状況が続くことが予想されるんだ。
だから、僕たちは、これまで以上に国の定める指標（目安となる数値）や同じ規模の地方自治体などをしっかりと見定めて、将来大きな負担を負わなくていいように、健全な財政運営を目指してがんばっていくからね！
猪名川町がこれからも自然いっぱい、安心して安全に暮らせる町であるためには、皆さんの税金はとっても大切だし、皆さん自らが「良い町にしたい」と思って、

まちづくりに参加してもらうこともとっても大切なんだ。
町の皆さんや企業の皆さんなどと、僕たち町の職員とが協力し合って、みんなが住みやすいまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。
いなほ「うーじゃあ、これからの数年後の猪名川町も安心だと思えるように、みんながまちづくりをしていく！」
今回の冬休みの宿題は、ぼくにはちょっと難しかったけど、少し



わかったような気がするよ。
これからは、もっとみんなに猪名川町の財政のことを教えてあげないとね！
井上さん、今日はありがとうございました！

問合せ 企画財政課 (☎ 766 - 8711)

4 こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川

～ 教育・文化 ～



B & G温水プール整備事業 441 万円

B & G 海洋センター施設改修工事に向け、実施設計業務委託を行いました。

給食センター整備事業 144 万円

老朽化した給食センター更新のため、施設整備基本計画策定業務委託を実施しました。

文化財事業 1,064 万円

悠久の館向かいの堀家製錬所跡遺跡の調査および大坂口番所推定地の確認調査などを実施しました。



文化体育館改修事業 1 億 2,796 万円

施設の老朽化に伴い、小ホール音響設備をはじめ大・小ホール照明設備、外壁などの改修工事を実施しました。

5 活力とにぎわいのあるまち 猪名川

～ 都市・産業・観光 ～



里山再生整備事業 891 万円

里山の維持、再生を目的として「しいたけ原木伐採奨励助成」や「竹資源循環利用助成」などを実施しました。

原広根線新設改良事業 1,488 万円

原広根線延伸に係る測量などを実施しました。

6 人びとと行政がともに歩むまち 猪名川

～ 行政運営 ～

清流猪名川ふるさと応援寄付金記念品贈呈事業 46 万円

本町にふるさと応援寄付をしていただいた町外在住の人に記念品を進呈しました。

町税等コンビニ収納サービス事業 95 万円

納税の利便性向上のため、コンビニエンスストア収納を実施しました。



平成23年度の主な事業と決算額

1 笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川

～ 地域・生活 ～

消防施設整備事業

1,310 万円

宝塚市、川西市および猪名川町の2市1町共同の消防指令センターを設置しました。

防災対策事業 1,343 万円

町内の気象観測機器の更新、孤立集落対策として衛星携帯電話の配布などを行いました。



井上「そうなんだ。でも、皆さんにとって必要なサービスばかりだから、足りない分を町税以外の収入で補っているんだ。」
じゃあ、平成23年度は実際にどんな事業にお金が使われたのか、見てみよう！
町には「猪名川町をこんな町にしたい！」っていう、6つの分野に分けた計画（第五次総合計画）が作られていて、その中のいろんな計画を実現するために、限られたお金をやりくりしながら事業を進めているんだよ。

2 こころ安らぐ自然にはぐくまれた 猪名川 ～ 環境・景観 ～



火葬場周辺整備事業 2,031 万円

火葬場霊照苑の駐車場が狭小のため、駐車場拡張整備を平成24年度にかけて実施しました。

希少生物等調査保全事業 173 万円

町内の水路やため池などの希少水生生物の調査を行いました。

公園緑地整備事業 2,488 万円

うぐいす池公園の一部をリニューアル、原川の河川管理道路に桜遊歩道を整備しました。



3 いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川 ～ 健康・福祉 ～

高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画策定事業 224 万円

高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるように計画を策定しました。



第3期猪名川町障害福祉計画策定事業 94 万円

障がいのある人の地域移行や一般就労への移行、各種障がい福祉サービスの数値目標などの計画を策定しました。

乳幼児等医療費助成事業 7,866 万円

中学生までを対象に、通院（中学生は入院のみ）、入院の医療費助成を実施しました。

放課後児童健全育成事業 6,222 万円

町内7小学校で実施し、つつじが丘小学校では、児童数増加に伴い留守家庭児童育成室を移設しました。

すこやか体力検定事業 37 万円

健康への関心や意欲向上のため65～79歳までの高齢者を対象に体力検定を実施しました。

感染症対策事業 8,699 万円

法定予防接種に加え、高齢者インフルエンザ予防接種の一部助成やヒブワクチンなどの予防接種を実施しました。

